

# グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 アユを捕まえる

02 虫捕り名人

Vol.318

2023/11/01



町田善康 《穴掘り名人》

## Photo 今月の1枚

北海道には、キタリス（エゾリス）とシマリス（エゾシマリス）、2種類のリスの仲間が暮らしています。このうちシマリスは、地面に穴を掘って、食べ物を貯蔵して冬眠します。冬眠用の穴は毎年自分で掘るので、秋になると泥だらけのシマリスを見ることができます。（町田善康）



## 01 Green Column グリーンコラム

# アユを捕まえる

写真・文／町田善康

イワナやヤマメが採りたいければ、川の上流に行きます。ヤチウガイが採りたいければ、湿地帯にある沼を探します。美幌町に来て十数年。町内で採集できる魚であれば、確実に採ることができます。でも、地域が変わると初めて出会う魚がいて、捕まえるのに苦労します。今回は、私が初めて採ったアユのお話です。

アユは、北海道東部では、見る事ができませんが、函館市から札幌市に至る北海道の日本海側に広く分布します。スイカのような匂いがして、骨が柔らかく、大変美味しい魚です。苔を食べる独特の食性で、20cmぐらいになった大型の個体は、苔が生える石の周りになわばりをつくります。もし、このなわばりに別のアユが近づこうものなら、なわばりアユが体当たりで追い払います。この習性を逆手にとって行われるのが友釣りなのです。

さて、話を戻します。10月上旬、余市町に行く機会を得ましたので、アユの採集を試みました。しかし、アユを採るのは初めてで、事前に、生息河川は知人に聞いていたものの、川のどこにいるのか見当もつきません。とりあえず、本州の川漁師のように投網を投げました。しかし、採れるのはヤマメばかり。何度投げててもアユは採れません。泳ぎが得意な魚なので、川で最も流れが速い瀬と呼ばれる場所に、投網を連投すると、ようやく1匹採ることができました。日の出から始めて数時間、待望の一匹です。今回は、この一匹を美幌博物館の大切な資料にしました。



## 虫捕り名人

写真・文／鬼丸和幸



今年<sup>今</sup>年は厳しい暑さが続き、秋はどうなることかと思いましたが、10月下旬にもなると、さすがに例年並みの気候に戻り、ほっとしています。温暖化のせいでしょうか、年々北海道も四季を通じて、暖かくなってきているように感じます。

そんな気候変化を反映してか、昔は北海道では見られなかった生きものが、最近見られるようになったという話を、良く聞くようになりました。

9月上旬、美幌温水ため池で、東陽小学校2年生の野外授業に、ご一緒させてもらった時のことです。児童らが、自分の昆虫網持参で、自由に昆虫を捕まえていたのですが、「こんな珍しいトンボ見つけたよ」ということで、一人の児童が駆け寄って来てくれました。「どれどれ」ということで見てみると、少し平べったいお腹で、頭から胸、お腹までの全身、そしてハネの基

部が、見事なまでの濃い赤色をしていたことから、すぐにショウジョウトンボ（トンボ科）だとわかりました。これまで、美幌町内で見たことがなかったので、貴重な大発見でした！

ショウジョウトンボは、現在では北海道から本州、四国、九州の全国で見られるものの、約10年前までは、北海道の道南周辺で、わずかに確認されていたにすぎない種類でした。ここ最近、急激に北海道内の広い範囲で見られるようになりました。その原因は定かではありませんが、最近の温暖化の影響を、大なり小なり受けているかと思われます。

それにしても、数年前にも同じこのため池で、やはり授業中に児童が当時、美幌町で初記録となるトンボを捕まえたという事がありましたので、子供は本来的に、“虫捕り運”を呼び寄せる名人なのかもしれません。

## Exhibition 展示

企画展「交通安全ポスター作文展」

11月3日(金)～11月26日(日)

ロビー展「文化人類学者 山口昌男」

～11月5日(日)



## Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

### 博物館講座(自然編)

「ヒダカソウが教えてくれることーアポイ岳のお花畑で何が起きている?ー」

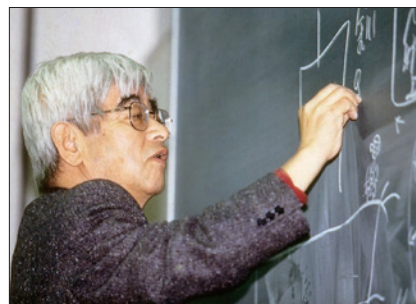
11/11(土) 10:00～11:30

美幌博物館 2階 視聴覚室

講師/西川洋子氏(北海道立総合研究機構)

対象/中学生以上～一般(小学生以下は保護者同伴)

申込み/申し込み不要



### プチ工房「ヘンプのプレスレット」

11/17(金)、18(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・300円

講師/八重柏誠(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申し込み不要



## Tweet つぶやき

美幌博物館 月刊情報誌 Green Letter

歯槽膿漏が原因で、奥歯の1つが半分腐り、欠落してしまいました。普通に朝晩しっかり歯磨きしていたつもりだったのですが…歯の欠落数が多い人ほど、認知症を発症しやすいとのデータがあるそうですので、注意したいと思います。(鬼丸和幸)



【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

